

第8回（2023年度）日本アレルギー学会 働き方改革推進奨励賞受賞者

日本アレルギー学会では、ワーク・ライフバランスの向上に関する経験や工夫はすべての会員に有用であると考え、2016年度より「奨励賞」を設け、男女共同参画の理念も含めた働き方改革活動を積極的に推進している会員、または所属機関を表彰・広報しております。2023年度の第8回日本アレルギー学会働き方改革推進奨励賞は、会員及びその所属団体を対象に、学会誌及び学会ホームページにて公募し厳正なる選考のうえ、2024年3月の理事会において以下の通り受賞者を決定いたしました。なお、受賞式は本年10月19日、第73回学術大会時の働き方改革推進委員会企画セミナー内にて行われる予定です。

受賞者

足立 厚子先生（足立病院皮膚科・アレルギー科）

足立先生は、当学会や所属病院、地域医師会においても男女共同参画委員会に属され、医療従事者の「育児や介護をしながらも充実して楽しく仕事ができる」ことを重視し、育児と仕事の両立についての講演をされ、女性が男性とともに活躍できる場を築いてこられました。また、「とにかく医師が楽しく診療しないと、患者様も家族も周りのスタッフも幸せになれない」をモットーに、前向きに診療、臨床研究、若い医師やスタッフの教育に取り組み、精力的に研究活動を行う医師を男女問わず多数輩出されてきました。

その他、病院内にとどまらず、様々な領域での講演を行い、現在も足立病院皮膚科アレルギー科部長として従事されている傍ら、同様の活動を続けておられます。

白崎 英明先生（北円山耳鼻咽喉科アレルギークリニック）

白崎先生は、医師の働き方支援においてご自身の留学先である北欧と日本の医師の働き方の現状を比較し問題点を提起され、札幌医科大学耳鼻咽喉科学教室准教授として、大学内での働き方改革に携わっている現状や、どのようにライフワークバランスを保っていくのか、また開業された後にも病診連携を含めたご自身の取り組みを紹介されました。さらに内閣府にも北欧の医師の働き方の情報提供を行うなど、社会へのインパクトも与えている他、クリニック経営者としても自院のスタッフに対して働きやすい環境を整えてこられました。

当学会においては、二期にわたり同委員会の委員として尽力され、第66回、第68回学術大会においてご講演もいただいております。

